

事業	事業項目	内 容	担当	年 度													備 考（活用予定の補助金等）		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
人財育成事業	新入社員向け研修 (認定職業訓練) (IV-3-3.2-(1))	各社のニーズをもとに技術系コースの再編を行ったうえで、「認定職業訓練」として実施する。 [テーマ](31年度の実施要項) ①『ビジネス基礎養成コース』 4月2日～4月11日 ②『システム開発技術者育成コース』 4月12日～6月10日 ③『新人研修フォローアップコース』 9月3日～4日	人財育成(委)		実施													①ビジネス基礎養成コース 4/2-4/11 14社/58名 ②システム開発技術コース 4/12-6/10 8社/43名 ③フォローアップ研修 9/3-4 8社/40名	
	中堅社員向け研修 (IV-3-3.2-(2))	技術に加えてプロジェクト管理や若手社員の指導等、企業現場の中核としての役割を負う中堅社員層を対象に、円滑な業務推進、マネージメント力の向上等に関わる実践的研修を6回程度実施する。 [テーマ]((5)⑥新規追加予定) ①『SEのためのチームマネジメント研修』 ②『人に教える技術』 ③『管理者・リーダー養成研修(課題解決思考編)』 ④『管理者・リーダー養成研修(組織マネジメント編)』 ⑤『ビジネスマインド強化研修(仮称)』 ⑥『ロジカルシンキング(仮称)』	〃			準備												①「SEのためのチームマネジメント研修」 9/10～11 9社19名 ②「人に教える技術～自立人材の育て方～」 12/5～6 10社22名 ③「管理者・リーダー養成研修」課題解決思考編 11/19 11社18名 ④「管理者・リーダー養成研修」組織マネジメント編 1/22 11社27名 ⑤「SEが知っておきたいビジネスマインド強化研修」 7/23 10社15名 ⑥「ロジカルシンキング研修」 9/6 11社15名	
	技術研修 (技術向上セミナー) *事業項目名称の変更予定 (IV-3-3.2-(3))	当業界にとって永遠の課題である技術の向上について、各社のニーズの高い最新技術をテーマとして専門的な技術研修を実施する。 開催回数は協賛等を考慮し検討する。 [テーマ例](前年度実績) ・2018年度はアジュール研修(無料)MS様、TED様、MISA共催「Azureで開くIoT/AIの扉」	〃																○Kintoneを利用した「No-Code、Low-Code」アプリケーション開発 ・6/4 14社19名 ○人手不足時代の救世主「RPAの基本的紹介とこれからの働き方」 ・10/10 18社26名
	外部連携研修 (IV-5-5.1-(3))	技術・ヒューマンスキル研修等の案内をMISA会員企業に発信し、会員企業技術者のレベル向上の一助とする。 ※開催スケジュールはMISA事務局からのメールおよびMISAホームページに公開する。 [テーマ例](前年度実績) JISA連携研修 1.「実践サービスデザイン～顧客のデジタル革命の推進役となるために～」 2.「アジャイル開発の基本～アジャイル開発活用の推進役となるために～」	〃																JISA連携研修 JISA連携「アジャイル開発の基本～アジャイル開発活用の推進役となるために～」 ・講座実施期間： 令和元年11月26日(火)～令和2年1月31日(金) ・集合ワークショップ開催日： 令和2年1月31日(金) 参加者 5社8名
	人材育成 ・活用分科会 (IV-5-5.1-(2))	①各社の人材育成等に関する意見交換の場として、当分科会を更に充実させ、各社の事業運営に役立たせる。 意見交換のテーマについては、委員の関心の高いものを都度取り上げ、各社持ち回りで発表し意見交換を行う。 ②次世代研修会 [テーマ例](前年度実績) JISA地域イノベーションリーダー支援事業 ・会員企業の若手から中堅社員を対象として、次世代を担うイノベーションリーダーの育成と人的交流の支援を行う。 全3回「デザイン思考」による“ゼロから物をカタチにする”	〃		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			〃					準備										○次世代研修会「『デザイン思考』による、“ゼロから物をカタチにする”」 ワークショップ形式の全3回にて実施 ・第1回：7/19 曜日立東日本ソリューションズ 18社23名 ・第2回：9/20 曜日立東日本ソリューションズ 17社20名 ・第3回：11/8 曜日立東日本ソリューションズ 15社18名	

(注)1.事業項目欄の()内は事業計画書本文の項目Noを示す。